

# AGEO WEST ROTARY NEWS LETTER



## 上尾西ロータリークラブ会報

創立 1973 年 3 月 28 日

発行日 2026.3.27 通算 第 2740 回 本年度 39 回 (2026.3.25)

会長：原 雅之 副会長：中村 次男

幹事：小岩井 忠 副幹事：齋藤 幸一 S.A.A：本田 幸司 クラブ会報委員会：紅谷 旺司 中村 次男 新井 登志彰 河原畑 光一 北川 健一

### 会長あいさつ

## 新たな節目と時代の変化

皆さん、こんばんは。本日は久しぶりの夜間例会となりました。会場が新しくなってから初めての夜間開催でもあり、改めて新鮮な気持ちでこの場に立っております。

さて、今月 21 日（土）に開催された「上尾市スポーツ少年団第 50 回記念大会」において、大会会長として始球を務めてまいりました。実に 10 年、20 年ぶりにボールを投げましたが、事前に練習したものの本番では少し高めに浮いてしまい、キャッチしていただいた関根さんに助けられる形となりました。久しぶりの運動に、体のあちこちが痛くなるというおまけもつきましたが、非常に貴重で楽しい時間を過ごさせていただきました。

また、私事ではございますが、昨日は小学 6 年生の息子の卒業式がありました。私が小学生の頃は卒業式の時期に桜が咲くことはありませんでしたが、今年はずで三分咲きとなっており、時代の変化を実感いたしました。こうした自然の変化の背景には、地球温暖化の影響もあるのだろうと感じております。一方で世界に目を向けると、中東情勢や各国の動きなど、不安定さを増している状況にあります。先行きが見通しにくい時代ではありますが、こうした社会の動きにも目を向けながら、私たち自身の活動を着実に進めていくことが大切だと考えております。



2025-2026 年度 原 雅之 会長

### 誕生祝 ファムティ ホウ 君 (24 日)

プレゼントをいただきましてありがとうございます。昨日 25 歳になりました。あっという間に 25 歳になって信じられない気持ちです。

ただ、まだ 4 分の 1 です。人生 100 年時代。皆さん一緒に 100 歳まで行きますよ！  
本日は本当にありがとうございました。



### 幹事報告 小岩井 忠 幹事

- 4 月の例会スケジュールについて
- 4 月 1 日 IM 親睦ゴルフ
- 4 月 8 日 例会及び理事会
- 4 月 15 日 移動例会  
(ロータリーの森事業)
- 4 月 22 日 夜間例会
- 4 月 29 日 休会

- 上尾市スポーツ少年団の閉会式が 4 月 5 日（日）に行われる予定です。天候などにより変更の可能性もありますので確定次第改めてご連絡させていただきます。



### 例会スナップ



委員会報告 親睦委員会  
委員長 関根 雅 君



委員会報告 国際奉仕委員会  
委員長 新井 登志彰 君



乾杯ご発声 水野 正男 君



終会挨拶 福崎 菊夫 君

UNITE  
FOR  
GOOD

Rotary  2025-2026 年度 会長テーマ「よいことのために手を取りあおう」

国際ロータリー会長  
国際ロータリー第 2770 地区ガバナー  
第 5 グループガバナー補佐  
第 5 グループガバナー補佐幹事

フランチェスコ・アレツォ (イタリア ラグーザ・ロータリークラブ所属)  
熊木 雄太郎 (戸田ロータリークラブ)  
松本 安永 (鴻巣水曜ロータリークラブ)  
本多 邦光 (鴻巣水曜ロータリークラブ)

# 上尾西ロータリークラブ53周年記念に因んで



大貫 等 君

皆さん、こんばんは。本日は上尾西ロータリークラブ創立53周年という節目にあたり、このような機会をいただきましたので、クラブの歩みについてお話しさせていただきます。4年前にも同様の話をさせていただきましたが、その後新たに入会された方もいらっしゃいますので、改めてクラブの成り立ちを振り返る機会とさせていただければと思います。

## ロータリークラブの起源

まず、ロータリークラブの起源は1905年、アメリカ・シカゴにてポール・ハリスを中心に4名のメンバーで創設されたことに始まります。当時は社会情勢が不安定であったことから、信頼できる仲間同士での商取引を目的とした「相互扶助」の精神がその根底にありました。その後、日本では1920年に東京ロータリークラブが設立されました。創設者は米山梅吉氏であり、現在の米山記念奨学事業にもつながる重要な存在です。以降、大阪、京都、神戸、名古屋、福岡、札幌と、全国へと広がっていきました。

## 上尾西ロータリークラブ誕生の経緯



埼玉県においては、川越と熊谷にクラブが誕生し、それぞれを起点として県内各地へと展開していきます。熊谷から大宮、大宮から上尾へとつながり、さらに鴻巣、桶川、そして上尾西へと発展してきました。上尾西ロータリークラブは、1973年（昭和48年）3月28日に創立されました。上尾ロータリークラブ創立から10年後、地域の発展に伴い「西口にもクラブを」という機運が高まり、当時の商工会関係者や金融機関の協力

のもと、設立準備が進められました。中心となったのは、中村先生をはじめとする関係者の方々であり、銀行の支店長であった松野氏らとともに、地域企業への働きかけを重ねながら会員の勧誘を行いました。ロータリーを知らない状態からのスタートであったため、上尾ロータリークラブの例会に参加しながら学び、模擬例会を重ねるなど、まさに手探りの中で準備が進められました。その結果、9名の発起人が集まり、創立総会へとつながりました。創設に至るまでには多くのご苦勞があり、その努力の積み重ねの上に現在のクラブがあることを、改めて認識する必要があると感じております。

## クラブの活力と会員数の重要性

クラブの活力は、やはり会員数に大きく左右されます。かつては50名を超える会員を擁し、活動も非常に活発で、例会や親睦行事も華やかに行われていた時期がありました。時代の変化により、当時と同じ形をそのまま再現することは難しいかもしれませんが、一定の規模を維持することの重要性は変わらないと考えます。

## 今後に向けた提案

これまでのクラブフォーラム等で出された意見を、単なる議論で終わらせず、具体的な形にしていくことが重要です。そこで提案として、「クラブ再生」や「運営見直し」をテーマとした特別委員会を設置し、例会のあり方、会費、活動内容などについて継続的に検討する場を設けてはどうかと考えます。そこで得られた案をクラブフォーラムで共有し、最終的に理事会で承認するという流れをつくることで、より実効性のある改善につながるのではないのでしょうか。創立から53年。先人たちの努力に思いを馳せるとともに、その精神を受け継ぎながら、これからのクラブのあり方を皆様とともに考えていければと思います。本日は創立記念パーティー、誠にありがとうございます。以上をもちまして、卓話とさせていただきます。ありがとうございました。



懇親会の様子

懇親会スナップ

